



ゴールデンウィークが過ぎ、新 1 年生も専科の授業がいよいよ始まりました。高学年の十日市場校舎では、9 年生指示のもと、連日学園祭の準備が着々と進んでいます。7・8・9 年生の学年を超えた交流が深まり、とてもよい機会となっています。教員・保護者も子どもたちに負けないように準備に取り組んでいます。最新情報は HP に公開中です。

\*\*\*\*\*

## \*校内研修 5月7日(土)\*

ゴールデンウィーク終盤の5月7日土曜日は、前日の雨が上がり、まさに五月晴れでした。この日、昨年度に引き続き全校ピクニックと同時に校内研修が行われました。

この日のために、春休み前から教員たちはテーマを選び、準備してきました。シュタイナー教育の特色のひとつに「エポック授業の最初にあるリズムの時間」があります。いわゆる机上の学びではなく、すぐに成果が見られるものでもないこのリズムの時間を教員たちが大事にしているのはなぜか。また、この学園の子どもたちが生き生きと楽しそうに学ぶのはなぜか。という問いを投げかけ、学園保護者の皆さんとリズムの時間の意義を考え、実際に体験してもらおうことにしました。

当日は低学年クラスの保護者を中心に、90名ほどの参加があり、盛況でした。

低、中、高学年の特徴に合わせて考えられたリズムのワークでは約30名ずつのグループに分かれ、実際に体験をしました。(低学年は季節のライゲン、中学年は棒を投げる練習、高学年は詩の群読)熱心な練習後にお互いが発表しあって健闘を讃えました。「こんなに体と心と頭を気持ちよく使ったのは初めて」「子どもが棒の練習が好きな理由が分かった」「同じリズムでも学年によって働きかける部分が違うのがよく分かった」と活発な感想が聞かれました。

2時間の充実した研修を終えた保護者の皆さんは、上気した頬を初夏の風に気持ち良く吹かれ、子どもたちの待つにはる里山センターの原っぱへと向かったのです。(7年生担任 長井麻美)

### ～保護者研修に参加して～

ゴールデンウィーク最後の土曜日、十日市場校舎の一番広い教室に、100名を超える全学年の保護者がにこやかに挨拶を交わしながら集合した。研修を楽しみにしている様子に、この学園は、保護者も教師と一緒に学びを創り上げていく場なのだ改めて感じた。

全員でのハミングから始まり、やがて2部構成の輪唱になり、全体でハーモニーが合う一体感と心地良さを感じた。気持ちと身体がほぐれたところで、低学年、中学年、高学年の3組に分かれ、こども達が日々のエポック授業のはじめの部分で行っている「リズム」と「動き」を体験することとなった。

私は中学年(4年生から6年生)の「動き」を体験した。30人ほどが輪になると、黒沼先生からお手玉が手渡された。ペアになり、同時に相手に投げ渡す。ぎこちない動きが、息が合いリズムが生まれると、お手玉が生き生きと行き交う。この動きが最後には長さ80センチの銅製の棒を6人で投げ合う動きになるとは、この時思ってもみなかった。

お手玉は、イチ・ニ・サーンのリズムが、イチ・ニーイ…、イーチ・ニ…と変わっていく。“あ、これは同じパターンが一つずれる輪唱になっている!!”ちょっとした気づきが楽しさに繋がる。(おそらく、パターンから数の概念へ広がるのだろう…)

動きは、木製または銅の棒を先ほどのリズムで、6人で対角にいるペアとやり取りする動きとなる。頭で分かっているも身体が動かない。逆に、身体が自然にリズムを取って動くと、滑らかな動きとなる。ペアのリズムが協調して6人のリズムになった時、動いている棒がきれいな六角柱を作る。(空間の像と幾何に繋がるのか…)

体験を通し、いろいろな連想が湧いたが、何よりも身体をリズムに合わせて動かし、他者と周り合わせていくことが心地良く、興味深い体験だった。

研修の最後は、全体の発表だった。低学年は、身体全体を使ったもの、中学年は手を使ったもの、高学年は、リズムと動きに言葉を載せるものと、前段で長井先生が解説されたこどもの育ちのステップが、カリキュラムに関連付けられていることが理解できた。

皆さんの満足した笑顔が印象的だった。短い時間だったが、シュタイナーの学びの一端を体験し、今年度の学園チラシに書かれた“この子たちはなぜこんなに楽しそうに学ぶのだろう?”の答えの一つを見つけることができた、楽しく有意義な研修だった。(1年生保護者 福田憲明)



## \*6年生 オリンピック大会の思い出\*

去る4月29日に相模原市藤野町のシュタイナー学園にて、オリンピック大会が開催されました。シュタイナー学園をはじめ、東京賢治シュタイナー学校、横浜シュタイナー学園の3校の6年生総勢49人が一堂に集い、古代ギリシャの競技の技を競い合いました。それらは幅跳び、円盤投げ、中距離走、槍投げ、レスリング、リレーといった競技でした。前年から3校の間で親睦会、合同練習を重ねていたため、各校の6年生たちはお互いに顔を何度か見たことがあり、中にはすでに仲良しになっている子どもたちもいました。そのため競技中や休憩中の子どもたちの間には和やかでやわらかい空気があったように感じました。

昨年10月、3校の5年生(当時)がまず横浜の学園に集まりました。まだ競技練習はなく、歌や笛の発表や劇遊びの活動をして楽しく過ごしました。霧が丘の5年生教室の前3分の1のところにロープを張り、布を掛け、教室に小劇場を作りました。そこで劇遊びを得意とする横浜の5年生が藤野や賢治の子どもたちに自作の自由劇を発表しました。次は3校合同で「シャッターチャンス」というゲーム(劇の練習のひとつ)で遊びました。混合で6チームに分かれ、くじで各チームが個別のお題をもらいます。「原始人の家族」「図書館」「老人ホーム」「満員電車」・・・などが書いてあります。各チームは各々が無言でポーズを作ってそのお題を表現し、観ている人たちが何のお題なのかを当てるゲームでした。どの学校やクラスにも女優、名優がいるものです。「え、原始人?」「あ、図書館だ。」などと盛り上がり、半日があっという間に過ぎていきました。

そして、昨年月、今度は東京賢治シュタイナー学校に集まり、火起こしの練習などをしました。昔ながらの火起こし機を見て昔の人々の巧みな知恵に感心しつつ、ビュンビュン芯棒を回転させました。子どもの間で代わる代わる力いっぱい回していくと、香ばしい匂いがしてきて、そして白い煙が上り、やがて小さなオレンジ色の火種ができました。それを綿状にした麻の中に入れ、息をやさしく向き込むとある瞬間にポツという音とともに炎が立ち上りました。杉の棒とロープと自分の力だけで火を作ることができるのだという感動がありました。

秋の横浜での3校交流会、冬の賢治での火起こし練習を経て、いよいよ2回に渡る合同練習(2月、4月)が藤野で始まりました。朝早く電車で相模湖畔の藤野駅に向かい、山の中をバスに揺られて行きました。その道中はちょっとした小旅行のような気分でした。

各種の競技を体育の先生方(藤野の脇元先生、賢治の石川先生)が丁寧に教えてくださいました。49人の子どもたちが勢ぞろいして槍を投げ、レスリングで組み合っという姿は後にも先にもオリンピックならではの風景だと思います。

意外にも横浜の子どもたちは他の学校の子どもたちに比べて「上品だなあ」という印象がありました。別の言葉でいうと「都会っ子」とでも言うべきでしょうか。「よし、朝トレをしよう。野生に目覚めよう!」と心に決め、次の週から約2か月のあいだ、毎朝リズムの時間に萱場公園に走って行き(行き帰りが中距離走のコース)、公園ではスタートダッシュ、日替わりで各種競技のフォーム練習、日によっては鬼ごっこや騎馬戦をして、持久力、俊敏さ、フォームの育成に励みました。子どもたちもエネルギーが体に満ちていて(勿論「かったり~」という様子もときにはありましたが)、毎日のはあはあ言いながらいい汗をかいていたと思います。担任の私も同じように走り、跳ぶことで体力をつけることができました。十日市場校舎に移ってからは、団子山のとっぺんまで走って登って降りてくる6年生の姿がありました。

そうして2回目の合同練習では「お、自分の力を活かせるね。」という様子が出てきました。4月29日の本番が近づくにつれ、子どもたちのポルテージも高まってきました。本番の日の朝は本当にきれいな青空でした。とても気持ちよく大会は始まり“これまでのプロセスの仕上げ”としてそれぞれが自分の力を目一杯発揮している姿がありました。特に中距離走やリレーの最中の“前へ前へ”と一心不乱に進む姿は感動的でした。保護者の方々子どもたちの懸命な姿に涙する場面もありました。

それぞれの競技の様子についてもここにご報告することはできたのですが、スペースの関係もあり、また別の機会があればと思います。良かったなと感じるのは本番よりもむしろそこに向かうプロセスでした。交流を重ね、朝練で汗をかき、合同練習で互いに親しみながら競技の上達を喜び合う。そこにいろいろな場面がありました。本番はその長い時間と取り組みの仕上げの瞬間でした。上の学年の皆さんの試みから事前に交流を重ねることの良さがわかり、私たちの学年が最初からそれを予定することができたのは本当に有り難いことでした。子どもたちや先生たちは「これで終わりにするのはもったいない。これからも何かいっしょにやれたらいいのにねえ。」という良い気持ちでことを終えました。すると先日、東京賢治シュタイナー学校の6年生たち全員からお手紙が届きました。今その返事を楽しく書いているところです。準備や本番のいろいろなところで支えてくださいました保護者の皆様、先生方、どうも有り難うございました。

(6年生担任 森田修)

## \*公開講座「豊かに育つ子どもたちの話」\*

5月15日(日)に公開講座「豊かに育つ子どもたちの話」が開催されました。

講師は昨年の同タイトルの講座と同じく、2年生担任、神田昌実先生。昌実先生は、去年卒業した横浜シュタイナー学園2期生の担任も勤められていて、その子どもたちの9年の歩みを振り返ってのお話です。

昨年度は先生ご自慢の2期生が豊かに育った生き証人として登場いたしましたが、今回はゲストスピーカーとして2期生の保護者にも登壇していただき、先生とはまた違った観点からシュタイナー教育について語ってもらう、という入学検討中の御家族や、低学年保護者により近づいた形での講座となりました。

まず前半は神田先生によるシュタイナー教育についての紹介からスタート。ドイツで始まったシュタイナー学校の歴史に始まり、シュタイナーの説いた人間の成長段階の話、シュタイナー学校のカリキュラムの話など、シュタイナー教育の基本的なところを俯瞰した形で簡単にまとめたわかりやすいものでした。

特にカリキュラムについては、一般的な話に留まらず、合間あいまに2期生のエピソードが折り込まれた生き生きとしたお話でした。

後半は、2期生保護者6名も交えて、さらに具体的な話を伺っていきました。

参加者の方からのご質問にお答えしながら、9年制のシュタイナー学校の是非、卒業後の進路について、学校運営をめぐる大人の自己教育について等々をお話しました。今回の講座には、入学、転入学を検討する御家族の他に、遠く福岡のシュタイナー学校や仙台に今春開校したシュタイナー学校の関係者の方々がお見えになっていて、熱心にお話を聴かされていたのが印象的でした。

どちらも9年制での運営を予定されていて、まだ卒業生のない学校です。複学年だった1期生を含めると1~3期生まで4代の卒業生を出し、少し先輩にあたる横浜の卒業生保護者の話は、もしかすると、参考としていただける部分があるのかも知れません。

無我夢中で手触りの中やってきた私達ですが、その拙い経験談が、各地で、横浜で、これから豊かに育っていくたくさんのお子様のお役にたてるのだとしたら、いつでも、何度でも喜んでお話をさせていただきますよ〜と強く思いました。子ども達はもちろん、私たち保護者もシュタイナー教育と学園を通じてとてもたくさん成長させてもらったのですから。

終了後は反省会と称して17時までおしゃべり。あんなんでも良かったのかしら?と不安の声も挙がりましたが、アンケートでは好評をいただけたようでホッと一安心です。

講座も含め、しゃべり倒した一日でしたが、まるで久々の保護者会みたいで、学園のお手伝いのつもりが、また小さなプレゼントをいただいてしまったみたいです。ありがとうございました。(8年保護者 河辺 美華)



### オープンデイ/学園祭

6月11日(土)10:00~15:00

#### 【オープンデイ】

・教育展

●エポック展示

●講演会&座談会

①11:00~12:00

②14:00~15:00

●大人のための体験講座「シュタイナー学校の英語」

12:00~12:30 ※要予約

・人形劇・カフェ・ワークショップ・手作り品販売・

・お父さん屋台・こどもの部屋(体験講座保育)

☆当日のみ「野ばら」特別割引実施します。

#### 【学園祭】

・ダンボールワールド・カフェ・緑日

●発表 合唱と劇「金のがちょう」

①11:30~12:00

②13:00~13:30

## 連続講座「シュタイナー学校を知りたい！」

日程：①5月29日(日)親子体験

②7月10日(日)大人向け体験授業

③7月23日(土)大人向け体験授業

④9月4日(日)講演会

時間：10:00～12:00

場所：①②④霧が丘校舎③十日市場校舎

料金：全4回5,000円

1回1,500円(NPO会員1,300円)

※②～④保育有。事前に予約ください。

## 連続講座「世界とつながるシュタイナー学校の手仕事」

### ①ファンタジーのかたと模倣を通して

④5月15日(日)13:30～16:00 終了

②6月19日(日)10:00～12:30

講師：三品恭子(手仕事専科)

### ②9歳の危機 子どもの内面

③7月18日(月祝)10:00～12:30

④9月18日(日)10:00～12:30

講師：柳本瑞枝(手仕事専科)

### ③思春期の子に伝えたいもの

⑤11月6日(日)10:00～12:30

⑥12月4日(日)13:30～16:00

講師：神田昌実(2年生担任・手仕事)

場所：霧が丘校舎

料金：全コース8,000円

1コース(2日間)3,000円(会員割引有)

\*材料費実費(500～700円)

※用意する持ち物などあります。詳細はHPでご確認の上、事前にお申し込みください。

## 公開講座「日本の建築史」

①7月5日(火)

②10月25日(火)

③2017年2月7日(火)

※10月の日程に変更があります。

時間：10:00～12:00

講師：岩橋亜希菜(建築家)

場所：霧が丘校舎

料金：2,000円(NPO会員1,500円)

\*保育はありません

# インフォメーション

## 2017年度入学説明会

[A] 6/25(土),9/17(土), 9/24(土)

[B] 7/2(土) 9/24(土),10/1(土)

場所：[A] 霧が丘校舎 14:00～16:00

[B] 十日市場校舎 10:00～12:30

参加費：無料。必ず事前に予約ください。

[A]→[B]の順で両方の会に出席済の方に願書(1,000円)を配付します。

※詳細はホームページでご確認ください

※編入ご希望の方はお問合せください

## 大人のオイリュトミー

### Aコース：健やかな体作り

講師：猿谷利加(オイリュトミー専科)

5/9,6/20,7/4,9/12,10/3,11/7,12/5,

2017年1/23,2/13

### Bコース：音と一緒に体を動かす

講師：大西敬子(オイリュトミー専科)

5/23,6/27,7/11,9/26,10/17,11/21,

12/12,2017年1/30,2/20

時間：9:30～10:45

場所：霧が丘校舎

料金：1回1,500円(NPO会員1,300円)

※詳細はHPでご確認の上、事前にお申し込みください。

## ご寄付ありがとうございます

(順不同・敬称略)

3/9～5/18

聖夜劇の会、トレカーサ工事、水野徳子、伊藤純子、9年生(卒業生)お楽しみ会有志、磯恵子(スペース結い)、星の金貨、山本忍(神之木クリニック)、保育グループ保育寄付箱、加藤洋子、白石玲子

～皆様からのご寄付は大切にさせていただきます～

## 茶話会／校内見学会

### 茶話会

7/10(日),9/4(日),11/7(月),

2017年2/11(土祝)

### 校内見学会(金曜日・週末)

6/17(金),9/9(金),10/21(金),

11/18(金),

2017年1/20(金),2/17(金)

参加費：無料

※日程により時間が異なります。

詳細はHPでご確認上、事前にお申し込みください。

## 「子育てフェスタ in かながわ」に参加します！

新緑が気持ち良い野外イベントです。

お子さんと楽しめるワークショップにぜひご参加ください！

日時：7月28日(土)

10:30～15:00

場所：霧が丘校舎

詳細はFacebook「かながわシュタイナー教育を育てる会」でご確認ください。



## 星の金貨

オープンデーでは、季節のポストカード・ハーブティー・木製品・編みぐるみ・オリーブオイル・書籍など取り揃えて皆さんをお待ちしております。どうぞお立ち寄りください。

お問い合わせ

e-mail:hoshi-kinka@freeml.com

ブログ

http://hosinokinka.blog100.fc2.com /

横浜シュタイナー学園

Newsletter 第91号

2016年5月28日発行

編集：広報の会

発行：NPO法人 横浜シュタイナー学園

https://yokohama-steiner.jp

〒226-0016 横浜市緑区霧が丘3丁目1-20

TEL/FAX 045-922-3107

※掲載内容の無断転載をお断りします

## お問合せ、お申込み先 横浜シュタイナー学園事務局

Tel&Fax: 045-922-3107 e-mail: gakuen-info@yokohama-steiner.jp

【会費・ご寄付等お振込先】

郵便振替： 00260-0-130702

加入者名：特定非営利活動法人横浜シュタイナー学園

ゆうちょ銀行：店番029 支店名029店(せとこい店)当座0130702